第 1 回 志太地域流域治水協議会 議事概要

日 時	令和 3 年 1 月 8 日（金）10時00分から11時30分まで				
場 所	島田土木事務所 4 階会議室（島田市道悦 5 丁目 7-1）				
出席者 職・氏名	団体名	課・所属名	職名	氏 名	備 考
	静岡県	交通基盤部道路保全課	課長	榊原 正彦	
		交通基盤部河川企画課	課長	望月 嘉徳	
		交通基盤部河川海岸整備課	課長	吉澤 雄介	代理：整備班長 露木 靖
		交通基盤部都市計画課	課長	玉木 睦	
		交通基盤部生活排水課	課長	大塚 義則	代理：整備班長 下村 史郎
		経済産業部農地計画課	課長	佐藤 欣久	
		経済産業部農地保全課	課長	前島 正典	
		志太榛原農林事務所	所長	望月 辰彦	代理：農山村整備部技監 神谷 幸人
		中部地域局	技監兼危機 管理課長	井倉 基	
		島田土木事務所	所長	佐藤 勝彦	
	島田市	危機管理部	部長	三浦 洋市	欠席
		産業観光部	部長	谷河 範夫	欠席
		都市基盤部	部長	田崎 武明	代理：建設課長 菅沼 克章
	焼津市	防災部	部長	久保山 巖夫	欠席
		経済部	部長	大本 裕一	代理：農政課長 滝 昌明
		建設部	部長	増田 亘	
		都市政策部	部長	篠宮 和行	代理：都市政策部次長 小柳津 元志
		環境部	部長	嘉茂 豊一	
	藤枝市	都市建設部	部長	小柳津 好弘	
都市建設部		基盤整備 局長	木野 浩満		
		危機管理監	小西 裕充	欠席	
大井川	大井川土地改良区	事務局長	安原 正明		
事務局：静岡県島田土木事務所、島田市建設課、焼津市河川課、藤枝市河川課					
議 題	1 志太地域流域治水協議会（仮称）の設立及び規約について <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立趣意書（案）及び規約（案） ・ 流域治水の取組 2 対策メニューの検討について 3 今後のスケジュールについて				
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事次第、出席者名簿、座席表 ・ 【資料 1】 設立趣意書（案）及び規約（案）、流域治水の取組 ・ 【資料 2】 対策メニューの検討について ・ 【資料 3】 令和元年台風19号における浸水被害の概要 ・ 【資料 4】 今後のスケジュール 				

議題1 志太地域流域治水協議会（仮称）の設立及び規約について

- ・ 設立趣意書（案）及び規約（案）
- ・ 流域治水の取組

【協議会構成員】

- ・ ソフト対策は大規模氾濫減災協議会の取組を取込むとのことであるが、ソフト対策は重要との説明があったため、規約に大規模氾濫減災協議会のことを記載しなくてもいいのか？

【事務局】

- ・ 規約案の第4条「実施事項」の5項に「その他、流域治水に関して必要な事項」を記載しており、そこで、ソフト対策も包括していると判断しているため、大規模氾濫減災協議会については、記載していない。

【協議会構成員】

- ・ 幹事会構成員の表-2に島田土木事務所の工事第1課長が入っていないがそれでいいのか？

【事務局】

- ・ 工事第1課長を追加する。

【協議会構成員】

- ・ 発展的解消をした既存協議会の構成員である土地対策課が今回の協議会に入っていないことについて説明があったが、構成員ではなくオブザーバーになったということか？

【事務局】

- ・ 県庁内で構成員の調整をした際に、土地対策課については県庁内の連絡調整会議で情報共有を図ることとしたため、現時点では構成員から外すこととした。またオブザーバーでもない。今後の検討により必要性が出た場合に参加していただくこととした。

- ・ 一部追加箇所があるものの、協議会名称、設立趣意書、規約について、承認された。
- ・ 案をとり、本日（令和3年1月8日）付けの施行とした。
- ・ 会長の選出については、互選により、島田土木事務所長が会長として選出された。

議題2 対策メニューの検討について

【協議会構成員1】

- ・ 既存協議会は発展的解消とし、本協議会に引き継がれるとのことであり、それ自体に異論はない。小石川・黒石川流域においてはR3年度が最終年度となっており、土地改良区では頭首工撤去を前倒しで実施している。既存協議会の最後の締めくくりとして達成度や効果などについてどのように考えているのか。今後の予定をみるとそれがわからない。

【事務局】

- ・ 新たに策定する水災害対策プランは、これまでの総合的治水アクションプランと対象降

雨が変わり、対策内容も流域治水の考え方をもとに充実を図っていきたいと考えている。これまでのアクションプランについては、幹事会の中で達成状況の整理や効果について、検証したいと考えている。

【協議会構成員 2】

- ・これまでの総合的治水対策アクションプランでは毎年、取組状況や成果を公表してきた。対策者が上流部で受益者が下流部にいても、関係者で合意形成を図りながら、うまく進めていった。これまでのアクションプランの成果については、幹事会で公表方法も含めて検討していただきたい。

【協議会構成員】

- ・洪水を対象とし、高潮対策は含まないのか。

【事務局】

- ・令和元年10月の台風19号により高潮の影響で浸水被害が発生していることから、高潮対策も含めて検討していくことになる。

【協議会構成員】

- ・流域対策プロジェクトのアウトプットは事例の通りマップ的なものか。一方、水災害対策プランのアウトプットはより具体的に記載するという事か。

【事務局】

- ・流域対策プロジェクトは、主要施策を位置図にまとめたものである。一方、水災害対策プランは、これまでの総合的治水対策アクションプランと同様に、近年洪水で被害のあった地区を対象に、シミュレーションにより効果的な対策を検討し、今後、5年、10年で具体的に誰が何をするのかをプランとしてまとめていきたい。

【協議会構成員】

- ・気を付けてほしい点を一つ。公共施設に流出抑制を行うのは管理者がはっきりしており問題ないが、住宅や水田など私有地の場合、対策者と受益者が異なる。場合によっては水田に被害が出る場合もある。対策を進めていくときに地権者の理解が必要になるので留意してやってほしい。

【事務局】

- ・水田貯留に関しては、袋井市をはじめ全国の事例を収集し、他人ごとではないという意識啓発を含め、関係者と調整を図りながら進めていきたい。

議題3 今後のスケジュールについて

特になし

全体を通して

【協議会構成員】

- ・流域治水には河川対策がある。新聞報道であるように5か年加速化対策で流域治水もメニューの一つであり、河川対策も加速化させることになる。国全体で15兆円。河川管理者としてしっかりやっていくが、引堤やそれに伴う橋梁架替も計画されている。莫大な予算が確保されると思うので、各市の協力について引き続きお願いしたい。また、緊急自債や緊急浚渫も継続され、市の事業にも活用できる。交付措置で有利なため活用してほしい。

【事務局】

- ・本協議会は、あらゆる関係者が主体的に水害対策に取り組む「流域治水」を進めていくことになる。流域治水プロジェクト、水災害対策の策定に向けて、厳しいスケジュールで進めていくことになるが、関係者のご協力をお願いしたい。

11時30分閉会